

日理協 22 第 129

2022 年 7 月 4 日

内閣官房子ども家庭庁設立準備室

室長 渡辺 由美子 殿

公益社団法人日本理学療法士協会

会長 斉藤 秀之

2023 年度予算概算要求に向けての要望

平素より本会および理学療法士の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。
2023 年度予算概算要求につきまして、以下の要望を提出いたします。ご尽力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

○こどもへの支援の課題

医療的ケアを必要とするこどもへの支援、障害を有するこどもの発育・発達支援、こどもの運動器など心身の健康増進、こどもの虐待への適切な対応、家庭の貧困対策など、広範囲な課題に直面している現状にあります。また、障害を有する児童が虐待やいじめを受けやすいことなど、これらの課題は相互に関連する問題でもあります。

○「こどもリハビリテーション課」の設置

つきましては、医療・福祉・教育の連携の観点に立って、障害を有するこどもの多様なニーズに即したケアとリハビリテーションの一体的で適切な政策が推進されるよう、こども家庭庁に「こどもリハビリテーション課」を設置いただきたく、これにかかる予算の確保を要望いたします。

○関連省庁への専門職人材の配置

また、一人ひとりの健やかな成長を社会全体で支援していくために、関係機関と調整のもとこれらの課題を管理監督・指導することができる専門職能を有した現場経験のある人材が必要です。こども家庭庁、厚生労働省、文部科学省等に理学療法士を配置し、現場のニーズに即した政策をより強力で推進していただくよう、予算の確保を要望いたします。

以上